氷見伏木信用金庫の
2025年度
SDGs活動報告

当金庫役職員全員が共通の認識を持って課題に取り組み、解決に向けた具体的な活動をすることにより、当金庫だけでなく、総代の皆さま、お取り引き先の皆さま、さらには地域におけるステークホルダーの皆さまにもSDGsを広げ、地域全体で持続可能な社会の実現に向け活動を行っています。

地域創生に向けた取組





棚田オーナー事業の田植え・稲刈りに参加しました。刈り取った「棚田米」は、氷見市社会福祉協議会に寄付しました。





「まるまげ祭り」(氷見市)と「島田髷まつり」(島田市)に連携協定を結ぶ当金庫と島田掛川信用金庫から職員が参加しました。





「ひみふしきマルシェ」を開催しました。地域の飲食店・物販やワークショップなど合計15店が出店したほか、子供向けの体験イベントを行いました。

JR氷見線応援委員会に参画し、忍者ハットリくん電車と駅構内の清掃活動に参加しました。

コスト管理

2025年度108口座が通帳からアプリに移行し、通帳レス口座は1,022口座となりました。

ペーパーレスの推進により、コピー用紙を16万枚削減しました。

顧客保護

警察より講師を招き「特殊詐欺防止研修会」を開催したほか、注意喚起のためチラシ配布を行いました。





タブレットを全店に設置し、伝票記入が困難なお客さまの記入レスに対応しました。



津波発生時の一次避難施設（本店）として、地域住民とともに氷見市総合防災訓練に参加しました。

金融仲介機能の強化

2025年度補助金採択実績73件。業務改善助成金の申請や経営力向上計画の作成を支援しました。

事業承継を円滑に進めるため、中小機構と連携し7件の個別相談を行いました。



震災復興定期預金の販売を通じ、震災復興のため義援金を寄付しました。

人材育成



地元の高校へ講師を派遣し、「金融業のビジネス」について特別講義を行いました。



富山ドリームスで活躍するアスリート職員のキャリアをサポートしています。



地域全体で、持続可能な社会の実現に向け活動を行ってまいります。